

# 躍進

新琴似中学校  
学校だより

令和8年度 第2号

令和8年4月20日

## 「最高学年になることで」(1学期始業式代表生徒の作文より)

3学年生徒

みなさんは、『有終の美』という言葉を知っていますか。『有終の美』とは、物事をやり通し、最後を立派に仕上げること。結果が立派であること、という意味だそうです。僕はまさに来年の3月に、この言葉のような一年だったといえるようにしたいと考えました。三年生になると、『最後の』大会、初めて『最後の』修学旅行など、なにかと『最後』という言葉がついて回ります。もちろん学校生活にも必ず『最後』が訪れることになります。その『最後』が訪れたときに後悔しないために、今頑張るのだと僕は考えます。一、二年生の間に、僕は学級代表としてクラス全体をまとめ、必要な情報を伝える力をつけたり、部活動では部長として部員をまとめ、部の方向性を決めたりしてきました。そのような活動を行う中で、つらいことや投げ出したいこともあったけれど、諦めずに活動してきたおかげで、みなさんの前で自信をもって話すことができています。僕たち3年生は受験に加えて、様々な場面での『最後』に出会う一年になるでしょう。『最後』をめがけて、今、目の前のことに全力で取り組み、諦めないことが、自分の思い描いた通りの『最後』に繋がるという思いを忘れずに活動していく一年間にしたいです。そして、この学年で活動する『最後』の日を迎えたときに、『有終の美』を飾ることができたといえるように、この一年間を過ごしていきます。

## 「新入生誓いの言葉」(入学式新入生代表挨拶より)

新入生代表生徒

暖かい日差しと、心地良い春風が吹きはじめたこの良き日に、私たち新入生160人は、入学式を迎えました。先ほどは多くの方々より歓迎のお言葉をいただきありがとうございました。新しい制服に身を包み、これからの中学校生活への期待がとても高まりました。小学校では、学ぶ楽しさを教えてくれた先生方、ともに学びともに成長してきた友達、私達を優しく見守り、安全を守ってくくださった地域の方々、どんな時も私達を支えてくれた家族。たくさんの人に支えられ、私達はここまで成長することができました。

また、小学校では努力して物事に取り組む楽しさを学んできました。グループ活動では、自分の考えと、仲間の考え方を比較し、お互いを尊重し、よりよい結果を導き出してきました。中学校では、勉強が難しくなり、さらに学ぶ量も増え、大変に思うこともあるかもしれませんが、それぞれの目標に向かって、努力を惜しまず励まし合い高め合える仲間でありたいと思います。時には、困難にぶつかると思います。それでも、私達新入生一同は、一步一步前へ進み成長していきたいです。

中学校から始まる部活動には、それぞれの得意を伸ばすことのできる場として、今から入部するのが楽しみです。最後になりますが、本日はこのような素晴らしい式を開いていただき本当にありがとうございました。これから始まる中学校生活を精一杯頑張ります。また、私達を支えてくれている家族や、地域の方々への感謝も忘れずに、頑張ります。新琴似中学校の一員として先輩方のように何事にも全力に、真剣に取り組むことのできる中学生になることを誓い、新入生代表挨拶とします。

先生方、これからの三年間、温かい御指導をどうぞよろしくお願い致します。